令和２年度　中原養護学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	児童・生徒が主体的に学び行動し、対話的に学び高めあう力を育み、地域の資源等を活用した活動を取り入れ、社会に開かれた教育課程を編成する	①校内研究のテーマとして授業実践・授業改善・授業研究に取組む。 ②地域の資源等を活かした活動や授業を実践し検証する。	①4 年間の目標を取り入れた授業を実践し、保護者に説明していく。 ②各学部で地域の資源を活用した授業に取組む。	①テーマを取り入れた授業について教員年間 1 つ以上の授業指導案（略案）を作成し公開できたか。 授業参観後の保護者の肯定的評価　80%以上 ②各学部で地域の資源を活用した授業に年間で 2 回以上取り組む。
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた専門性の高い指導を行うと共に校内指導体制をさらに整備する。	①「学部コーディネーター」の役割を明確化し、学部・部門内での相談・支援体制を充実させる。 ②学部や児童・生徒実態に応じたアセスメントを行い授業等へ活用する。	①学部コーディネーターが核となり、学部のケース会議を行う。 ②各学部で「アセスメント」についての研修を専門職等と協力して実施し、個別教育計画等に活用する。	①学部コーディネーターが核となるケース会の実施　（学部 10 回/年） ②研修会が実施できたか。 個別教育計画等への活用。（教員へのアンケート　活用 100%、保護者アンケートでの肯定的評価 80%）
3	進路指導・支援	個々のライフキャリア・ワークキャリアを見据えた進路指導・支援を行う。	①全ての学部の教員が進路指導・支援に関する知識や実践力を向上させる。 ②進路に関する学習について各学部で整理し検証する。	①全職員が年に 1 か所以上は進路先の見学等ができる機会を設定する。 ②高等部においては進路指導・学習を体系化しまとめる。その際、清掃技能検定を積極的に活用する。	①進路先見学等の機会が設定できたか。 職員が年に 1 回以上は進路先の見学ができたか。（教員アンケートで 85%以上） ②進路指導・学習についてまとめることができたか。 清掃技能検定の活用。（前年度より参加者増）
4	地域等との協働	地域のセンター的機能の充実を図るとともに、地域と連携した活動の機会を設	①教育相談コーディネーターを核に校内の人材を活用しながら学校コンサルテーションを充実させる。	①学校コンサルテーションの際に学部長や学部コーディネーターが同行し、地域の学校等の現状を理解する。	①学部長や学部コーディネーター参加の学校コンサルテーションの実施（1 回/人　年） 同行の報告会を実施できたか。

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
		ける	②地域資源を活用し連携した学習や防災対策等を計画する	②地域と連携した防災訓練を実施する。	②地域と連携した防災訓練が実施できたか。
5	学校管理 学校運営	保護者や地域から信頼・信用される安心安全な学校づくりを行う。	①安心安全で効率的な業務が遂行できる職場環境を作る。 ②保護者や地域に学校から適時情報発信を行う	①安心安全な環境や効率的な業務改善についての提案を行う。 ②ツイッターやＨＰで学校の様子や工事の進捗状況を発信する。	①各学部、グループから年間５つ以上の改善案が提案され改善されたか。 ②週に１回以上情報を更新できたか。保護者への情報を迅速に行えたか。（保護者アンケート結果肯定的意見80%）